

ムシ歯のはじまりとだ液の働き



ムシ歯はどうしてできるの？

お口の中の歯垢(プラーク)の中にあるムシ歯菌が、食べ物から栄養をとり、糖を分解して酸を作ります。この酸によって歯の表面からミネラル成分カルシウム・リンが溶け出します。これがムシ歯のはじまりです。



歯垢の中では、ムシ歯菌が酸を作って、歯の表面を溶かしはじめています！



だ液が歯を守っています

脱灰

だっかい

酸によって歯の表面からミネラル成分が溶かされる。



くりかえし



再石灰化

ざいせっかいか

溶かされた歯の成分が元にもどる。



だ液には、酸を中和する働きや、酸によって溶かされたミネラル成分を元にもどす働きがあります。この働きが、溶かされる分量に追いつかないと、ムシ歯になってしまうのです。